

濱田隆士先生を偲んで

福井県立恐竜博物館初代館長の濱田隆士先生が2011年1月19日にご逝去になりました。享年77才でした。

濱田先生と恐竜博物館とのご縁が始まったのは、恐竜博物館の前身である福井県立博物館が福井県勝山市で恐竜化石調査を開始した時期でした。正確には1989年に始まった第一次調査の二年目（1990年）に、発掘調査事業の調査指導者をお願いしてからです。濱田先生が発掘現場に来られると、調査にあっていた調査員や学生さんたちに活気が生まれるなど、先生は発掘成果に大きな影響を与えられました。発掘調査は1995年から第二次調査に入っていく、同年9月には恐竜博物館を建設するための「恐竜博物館（仮称）基本構想・計画策定委員会」が福井県教育委員会に設置されました。濱田先生は同委員会の委員長を務められ、半年後の1996年3月には恐竜博物館（仮称）の基本構想・計画の答申を出されました。大変厳しいスケジュールでしたが、現在、恐竜博物館の展示や運営等に答申書の基本的な考え方が生かされています。引き続き、1996年12月には恐竜博物館（仮称）建設準備委員会が設置され、濱田先生はその委員長に就任されました。2000年7月に福井県立恐竜博物館が開館するまで、先生には基本設計、実施設計、展示資料の収集、研究職員の採用など多岐にわたる案件でご指導をいただきました。

恐竜博物館が開館してからは館長に就任され、開館直後の博物館運営に采配をふるわれました。特に海外の博物館等との連携に尽力され、カナダのロイヤル・ティレル古生物学博物館（2000年）、中国科学院古脊椎動物古人類研究所（2001年）、浙江自然博物館（2004年）などとの姉妹提携を実現されました。

濱田先生は2005年3月に恐竜博物館を勇退されましたが、2010年7月に開館10周年を迎えることができたことや、2010年度の総入館者が50万人を超えるなど先生のご尽力が大きく結実した結果と確信致しております。

合掌

福井県立恐竜博物館特別館長

東 洋 一



浙江自然博物館との姉妹提携調印式（2004年3月12日：福井県立恐竜博物館）

目 次

濱田隆士先生を偲んで
東 洋一

地質・古生物分野

論文

Re-examination of *Chuanjiesaurus anaensis* (Dinosauria : Sauropoda) from the Middle Jurassic Chuanjie Formation, Lufeng County, Yunnan Province, Southwest China 1
Toru SEKIYA

三畳紀の恐竜型類における植物食と二足歩行の進化 55
久保 泰

クジラに中肋骨はあるか 63
一島啓人

手取層群北谷層（下部白亜系）から産出した針葉樹枝条化石 *Brachyphyllum* の産状と古生態 77
矢部 淳・柴田正輝

福井県勝山市杉山川流域から発見された白亜紀の針葉樹材化石 89
寺田和雄・矢部 淳

An exotic body of the Middle Jurassic Torinosu-type Limestone in the Hikawa Formation, southeastern Kanto Mountains, Japan 103
Naoto ISHIDA

愛媛県城川地域中津川の鳥巢式石灰岩に見出された現地性厚歯二枚貝と被覆微生物の産状 113
柿崎喜宏・佐野晋一・狩野彰宏